

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名	コード	30000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業	
					一般	8	2	3			
施策体系	基本施策	18	安全で快適な道路の整備	根拠法令	特になし						
	施策の展開	33	主要道路の整備	戦略事業	159	飯岡海上連絡道の整備					
	施策の展開			戦略事業							

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない									
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 21 年度～ 令和 5 年度まで		交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。 整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。									
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状				④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。				事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっている。				事業費が大きいことから、事業の必要性が問われている。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.委託料	7,171	設計業務 1件	千円	3,899	234	417	7,171	72,788
2.工事請負費	2,484	道路改良工事 1件	千円	55,543	33,687	6,670	2,484	148,500
3.用地費	0		千円	0	7,840	12,362		22,892
4.補償費	0		千円	1,474	6,352	0		2,277
5.その他	0		千円	0	0	0		2,520
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	9,100	社会資本整備総合交付金	千円	60,916	48,113	19,449	9,655	248,977
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0	合併特例債	千円	49,900	45,400	18,200		186,600
4.その他	0	繰越金	千円	10,406	518			
前年度増減理由		他団体事業との重複箇所があり、その進捗に併せ本事業を実施しているため	事業費					
			1. 国庫支出金	千円			9,100	50,000
			2. 都道府県支出金	千円				
			3. 地方債	千円	49,900	45,400	18,200	
			4. その他	千円	10,406	518		
			5. 一般財源	千円	610	2,195	1,249	555

従事職員数 常時 4 人 最大 4 人 × 200 日 = 延べ 800 人

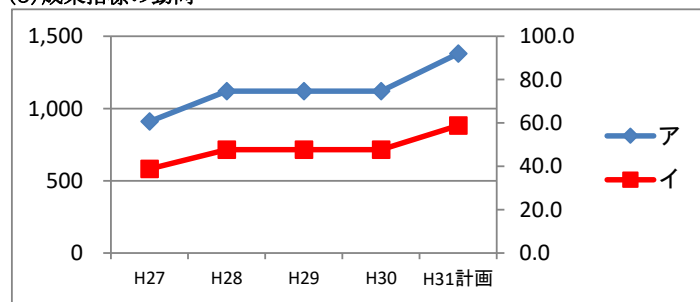
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
手段	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア	整備延長(単年度)	m	0	210	0	0	260
	ボックスカルバート布設 L=19.5m		イ						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
目的	対象 市民	ア	道路整備延長	m	910	1,120	1,120	1,120	1,380
	意図 道路整備により地域間が結ばれ、地域間交流の活性化が図れる		イ 整備率	%	38.8	47.7	47.7	47.7	58.8
対象	道路利用者	イ							
	意図 道路整備により、安全且つ快適な移動と渋滞回避が望める								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある 程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	
普通		②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
	成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	27年度		28年度	29年度	30年度	31計画				
	【コメント】 (低下の場合、その理由)						成果動向	ア	0	210	0	0	260		
							イ	0.0	8.9	0.0	0.0	11.1			
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
		随時	用地取得箇所につき順次、道路改良工事へ取り組む				31年度～	31年度には5割超が完成し、鉄道横断工事へも着手することから、全線完成に向け現状を保ち集中して取り組む。							